



きょうえい にゅーす

2015年 9月 1日 発行

KYOEI NEWS

第186号



共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号

TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517

E-mail osaka@kyoeisystem.co.jp

URL <http://www.kyoeisystem.co.jp>

<運送会社の経営情報>

■ 今年の最低賃金額引上げの目安と企業の対応について

今年も、地域別最低賃金額が10月から引上げとなる見込みです。引上げ額の目安については、都道府県の経済実態に応じ、次の通り提示されています。

- Aランク⇒19円 (千葉・東京・神奈川・愛知・大阪) ※大阪、愛知は20円
- Bランク⇒18円 (茨城・栃木・埼玉・富山・長野・静岡・三重・滋賀・京都・兵庫・広島)
- Cランク⇒16円 (北海道・宮城・群馬・新潟・石川・福井・山梨・岐阜・奈良・和歌山
・岡山・山口・香川・福岡)
- Dランク⇒16円 (青森・岩手・秋田・山形・福島・鳥取・島根・徳島・愛媛・高知
・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

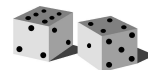


◆ 今後の流れ

- ・現在、各地方最低賃金審議会で上記の目安を参考に調査審議が行われており、その答申を経て、各都道府県労働局長が地域別最低賃金を決定することとなります。
- ・もっとも、提示された目安と異なる地域別最低賃金額が定められた例は、過去に、殆どなく、目安額通りに決定されるものと考えられます。

◆ 引上げ前のチェックが必要

- ・最低賃金額に近い額で雇用契約を結んでいる従業員が多い事業場では、引上げ後の最低賃金額を上回る額が支払われているか、注意が必要です。
- ・時間給を計算してみると最低賃金額を割り込んでしまっているケースが、アルバイト・パートタイマーはもちろん、正社員の場合であっても散見されます。
- ・時給制の場合にはわかりやすいのですが、月給制や日給制の場合は、賃金額を労働時間数で割り戻して時間給を算出し、最低賃金額と比較してみてください。
- ・賃金額が最低賃金額を下回る場合には刑事罰が定められており(最低賃金法40条、50万円以下の罰金)悪質な場合には書類送検の可能性もあります。「引上げにきちんと対応できていなかった」という“うっかりミス”が多い部分ですので、10月の引上げ前に、再度、最低賃金額関連の管理について見直すことが必要です。



< A社の例 >

- ・東京都内で長距離運行を主体に業務を行っているA社では、乗務員の基本給は月額100,000円、歩合給(運行手当)は運行コースごとに設定されており、1か月約200,000～300,000円でした。但し、運行手当の70%は残業手当相当分との規定になっています。
- ・某乗務員の某月の運行手当は250,000円、総労働時間は333時間(所定労働時間173時間、残業時間160時間)でした。この場合、多くの問題がありますが、最低賃金に関しても、定められた額を下回っており、違反となります。

①100,000円÷173時間≒578円 ②(250,000円×30%)÷333時間≒225円 ①+②=803円<888円

労働基準監督署の調査でも、このことを指摘されました。

皆様の会社も、この機会に確認してみたいはかがですか？

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡下さい。

貴社名	アドレス